



6～7人のグループで話し合いながらHUGに取り組みました

TOPIC
16
9
12

HUGを通して共助を学ぶ

白糠学園防災学習

白糠学園で防災学習が開かれ、5～7年生約60人が避難所運営ゲーム「HUG（ハグ）」を行いました。
HUGとは、実践的な避難所運営を模擬体験できる図上訓練です。講師を務めた釧路市西消防署白糠支署の村山隆一支署長は「避難者それぞれの状況を考えながら、避難所での生活をイメージすることが大切」と話していました。児童生徒はHUGを通して、避難所運営の大変さを知るとともに、避難所で支え合う、協力し合うことの大切さも学んでいました。

TOPIC
13
9
9

新たなグラウンドで元気に運動会

白糠子ども園運動会

白糠子ども園の運動会が同園グラウンドで開かれ、園児が元気いっぱいグラウンドを駆け回りました。
新しい園舎になってから初めての運動会には1～5歳の園児73人が参加。年少組による体操からスタートし、競技「元気に走ろう」では、園児が一生懸命走る姿に、会場から大きな声援と拍手が送られました。
個人、親子競技のほか、紅白玉入れのチーム戦などにも一生懸命に取り組み、応援する保護者たちにはつらつと成長した姿を見せていました。



競技「消防隊出動!!」では、園児が消防士になりきっています

TOPIC
17
9
13

白糠に加工場を整備

株式会社イミュー白糠工場落成式

秋鮭やブリを使った「白糠産品開発プロジェクト」を手掛ける株式会社イミュー（本社東京都、黒田康平社長）の工場が庶路2丁目の国道沿いに完成しました。
この日、落成式が同工場で行われ、黒田社長が「白糠町の事業者とより深く関わっていききたい」とあいさつ。来賓の棚野孝夫町長は「白糠の生産物のブランド化に力添えをいただきたい」と祝辞を述べました。
同工場では、白糠漁港で水揚げされたブリなどの加工を行う予定で、町民4人を新たに雇用しています。



極寒ブリを手に落成を祝う黒田社長（左から2人目）



白糠童謡・唱歌をうたう会が全9曲を発表

TOPIC
14
9
9

舞踊と童謡を披露

藤間流真三代会等発表会

町文化協会が主催する月例活動発表会が公民館で行われ「藤間流真三代会」と「白糠童謡・唱歌をうたう会」が日ごろの活動の成果を披露しました。
同発表会では、藤間流真三代会の佐々木敦子さんが「花の舞」「京都二寧坂」の2曲を舞踊した後、観客参加型の輪踊りを行いました。次に、白糠童謡・唱歌をうたう会が「心に花あかりを」など全9曲を歌いました。亀澤和子さんは「童謡を聞いて、懐かしい気持ちになりました」と話していました。

TOPIC
18
9
16

地元チーズとワインを堪能

第109回はまなすワイン会

「第109回はまなすワイン会」が同レストラン（谷口修代表）で開かれ、町内外から参加した38人がワインと白糠酪恵舎のチーズを堪能しました。
同ワイン会は1989年から開催されており、今回は白糠酪恵舎のチーズ特集。用意された9種類の料理全てに酪恵舎のチーズが使用され、参加者はワインとチーズのハーモニーを楽しみました。
釧路市から参加した武山あゆみさんは「酪恵舎のチーズとワインがとても合いますね」と話していました。

TOPIC
15
9
10

男性小窪さん（釧路市）女性萩原さん（帯広市）が優勝

第22回町長杯パークゴルフ大会

第22回白糠町長杯パークゴルフ大会が、しらぬかパークゴルフインチャロで開かれ、町内外から男性61人、女性31人が参加し、男女別で優勝を目指しました。
男性は釧路市の小窪信一さんが優勝。女性は帯広市の萩原久美子さんが優勝を飾りました。萩原さんは「優勝できてとてもうれしいです」と喜んでいました。優勝以下は次のとおり（敬称略）男性の部 ▶準優勝 田中勇（士別市）▶3位 竹田幸男（釧路市）女性の部 ▶準優勝 渡邊鈴恵（本別町）▶3位 山本浪子（白糠町）



ワインとチーズ料理を堪能する参加者



4年ぶりの大会を楽しむ参加者